

第13回富山県農村医学研究および健康管理活動発表集会記録

日時：平成8年2月3日

場所：厚生連高岡病院

地域医療研修室

第13回の研究発表会は、平成8年2月3日、厚生連高岡病院にて、特別発言1題、発表演題13題、参加約50名でおこなわれ、活発な討論がおこなわれました。

なお、発表演題名は下記の通りです。

《プログラム》

1. 開会の挨拶 (13:30~13:45)
2. 会員発表 (13:45~17:15)

座長 厚生連高岡病院第二内科診療部長 亀谷富夫 (13:45~14:45)

1. 滑川総合検診センターにおける骨密度検診の検討

厚生連滑川総合検診センター ○大原千津子 小川忠邦 川口和子 松井規子 川岸智美
大重美智留 宮坂純香 岸 宏栄 中谷恒夫 川原隆徳
谷川秀明

2. 富山県内における骨粗鬆症予防検診とその関連要因の検討

(社)日本健康倶楽部北陸支部 ○黒牧裕子 井上知康 山本敏宗 山本 隆 若林博之
中川秀幸

3. 腹部超音波検診の成績と問題点

厚生連滑川検診センター ○小川忠邦 宮坂 貢 中谷恒夫 永田広幸 石川 靖
堰下正幸 土田忠浩 永田 浩 岸 正範 川田勝義
飯田智美

4. 二次検診未受診者の実行要因

—アンケート調査を試みて—

厚生連高岡総合検診センター ○作道康子 渋谷直美 佐武千佳子 沼田絵り子
小林昭子 福田久美子 坂次順子

座長 高岡市保健センター所長 熊谷武夫 (14:45~15:30)

5. ゆたかな水・緑を次代へ

高岡市農協青年部 吉野 公

6. くれはの森から

元富山保健所 中川秀幸

7. アイガモ農法の現況

福野町

荒田清耕

座長 厚生連高岡病院副院長 豊田 務 (15:30~16:15)

* 特別発言

「生存秩序を大地に学ぶ」

富山県農村医学研究会

会長 越山 健二

8. ハチ毒抗原に対する IgE 抗原価の測定

富山医科薬科大学病理学 ○新村律子 ロスデアナ・ナツィール 上村 清

富山医科薬科大学公衆衛生学 寺西秀豊 加須屋 実

9. 空中花粉の新しい観察法：核を観察する

富山医科薬科大学公衆衛生学 ○寺西秀豊 劔田幸子 加須屋 実

座長 厚生連高岡病院第一内科診療部長待遇 狩野哲次 (16:15~17:15)

10. 農協におけるホームヘルパー養成の現状と課題

富山県農協中央会 ○寺崎直樹 酒井 彰 藤畑 満

富山県厚生連 出口慶子 田村政子 大浦栄次 寺部 聡

11. 当院の高齢化社会に対する活動

—訪問看護・ホームヘルパー実習・病院ボランティア—

厚生連高岡病院 ○平野晴美 出口慶子

12. 死にゆく患者の心理段階と看護婦の態度との関連

—事例によるアンケート調査をもとに—

厚生連高岡病院 ○山岸由美 村本昭子 夏野恭子 藤田美喜子 東海洋子

小林絹子

13. 看護職員の「病・老・死」に対する真情

富山県農村医学研究会 ○大浦栄次 岸 宏栄 越山健二 出口慶子 田村政子

平野晴美 高橋征子 浅川菊美

他厚生連病院看護職員一同

第 26 回 通 常 総 会 記 録

日時 平成 7 年 6 月 3 日 午後 1 時 30 分～
場所 富 山 県 民 会 館 401 号 室

I. 総会議事の概要

会 員 総 数 306 名 うち出席者 74 名 委任状 121 名

会 長 挨拶 越山健二

議 長 選 出 厚生連滑川病院 膳亀悠紀雄

議事録署名人 滑川市 柳井道之

朝日町 加藤 均

書 記 金田 明, 宮崎 徹

議 事

第 1 号議案 平成 6 年度事業報告書, 財産目録, 収支決算報告承認について

第 2 号議案 平成 7 年度事業計画及び収支予算承認について

第 3 号議案 役員の改選について

第 4 号議案 顧問の承認について

特 別 講 演 富山医科薬科大学教授 鏡森定信

演 題 「どうなる, どうする 21 世紀の保健医療」

II. 平成 6 年度事業報告書

(平成 6 年 4 月 1 日～平成 7 年 3 月 31 日)

I. 事業の概況

平成 6 年度事業の終了に当り, 事業の概況について報告致します。

一昨年は百年に一度と言われる大凶作となり, 昨年 200 万トンを超える米が緊急輸入されました。ところが, 昨年は一転して大豊作となり, 輸入米と合わせて大量の在庫が残る事になりました。政府は, 米の安定供給と食糧備蓄の基本であった食糧管理制度を廃止し, 事実上, 米の輸入及び自由販売を認める新食糧法を制定しました。その結果, 米の販売価格は, 現在の半分となるとの予測もされています。

富山県は全国的にも耕地に占める水田の面積比率が高く, かつ農業の兼業化が最も進んでいます。この新食糧法は, 農業に従事する意欲を大きくそぐものといわざるを得ません。

本会では, 益々厳しくなる農業, 農村に生活する人々のより豊かで健康な生活を築くため, 会員のみなさんと共に調査研究を続けてまいりました。

昭和 45 年より続けております農業機械災害事故調査, また, 昭和 55 年より実施しています農業機械以外による農業災害事故調査について, 今年度も実施してきました。農薬中毒の臨床例調査も昭和 55

年より続けております。

また、富山県内の空中花粉調査や、アレルギーに関する調査も農協組織等と協力し継続的に実施しております。

農村における健康状態の把握に関する調査研究も引続き実施しております。高岡、滑川の農村検診センターにおける健康調査等も引続き行なわれています。

また、農村環境調査では、緑豊かな地帯が大気汚染等も少ない事が明らかになりました。

さらに、高齢者問題では、農協共済総合研究所からの委託研究として「農村における老化とその対応」に関する調査研究も実施してきました。

これらの研究成果は、つくば市で開催された第43回日本農村医学会や第12回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会等、各種学会や本会会誌等で発表しています。

以上、本会の活動は医療関係者はもとより行政、農協、及び農村の健康問題に関心のあるあらゆる方々の協力により実施されてまいりました。次年度も引き続き事業計画に基づき、さらに研究調査に鋭意取り組んでまいりたいと思っておりますので、会員各位の絶大なるご協力をお願い致します。

最後に、県当局、農協各連より絶大なるご援助をいただいておりますことに対して厚くお礼申し上げます。

II. 主な事業項目の概要

I. 第25回総会（平成6年6月4日、富山県民会館）

- ① 議 事
 - ・平成5年度事業報告、収支決算書承認
 - ・平成6年度事業計画、収支予算書案承認
 - ・役員の一部改選について、顧問の一部変更承認について
- ② 特別講演
講師 金沢大学名誉教授 酒 井 栄 一 氏
演題 「研究と回顧」 —数学・医学が求める芸術性—

II. 研究調査活動

(1) 農業災害に関する調査研究

①富山県における農業機械災害事故調査

昭和45年より実施している農業機械災害事故調査を県内全ての整形外科、外科、眼科、接骨院800カ所余りを対象に実施した。本年度も一次調査、二次調査（詳細調査）を実施した。症例数はここ数年ほとんど変動していない。

②富山県における農業機械以外の農業災害事故調査

昭和55年より行なっている標記調査について、前項と同様一次調査、詳細調査を行なった。

(2) 農薬中毒に関する調査研究

①富山県における農薬中毒の臨床例の収集とその問題点の解明

昭和55年より県内の内科、外科、小児科、眼科、皮膚科を標榜する約650カ所の医療機関全てを対象に農薬中毒の臨床例の有無を調査してきた。本年度も同様の方法にて一次調査として、農薬中毒臨床例の有無の調査を行い、「症例有り」と回答のあった医療機関に詳細報告を

求めた。なお、一次調査は前期（1～8月対象）と後期（9～12月対象）の2度実施した。

②臭化メチルによる土壌燻蒸作業者の健康調査

臭化メチルによる土壌燻蒸作業従事者の燻蒸作業前と作業後における SCE（姉妹染色体分体交換）について検討した。その結果、作業前に比べ作業後では明らかに SCE の頻度が高くなり、染色体に何らかの影響を与えている可能性が考えられ、今後、防護を徹底する必要があると考えられた。

(3) 農村におけるアレルギーに関する調査研究

①富山県における空中花粉調査

県内の農協等の協力を得て、春先の空中花粉の飛散状況調査を7ヶ所で実施した。これまで、富山県においては広域的な空中花粉の基礎資料がなく、本調査により、次第に県内の空中花粉の飛散状況が明かになりつつあり、今後花粉情報の提供、また、農村における花粉症等のアレルギー疾患の予防にも役立つと考えられる。

②山村住民のスギ RAST と食生活スタイルの関係に関する調査研究

利賀村住民のスギ RAST と食生活スタイルの関係について検討した。その結果、かたよりのない食生活スタイルの人には RAST 陽性者が少なかった。

(4) 農村環境の変化と健康影響に関する調査研究

①夏期と冬期の大気中 NO₂ の比較

高岡市農協管内において、夏期と冬期において同一箇所約200カ所余りにおいて一斉に NO₂ を測定した。その結果、工場地帯において NO₂ 濃度は高く、山際の地帯で低かった。また、光合成の盛んな夏の方が冬より濃度が低かった。この事より、環境を守るため緑を育むことの重要性が示唆された。

②オキシダントによるサトイモの葉の変化の調査

オキシダントによりサトイモの葉は特徴的な斑点を生じる。高岡市農協管内11カ所において夏期に、サトイモの葉の変化を調査した。その結果、山際の地帯のサトイモに変化は少なかった。このことから山の緑が大気浄化に何らかの役割を果たしている可能性が示唆された。

(5) 農村における各種健康調査

①日帰り人間ドック受診者の十年間の生活変化と検診成績の関係

10年前に厚生連検診センターの日帰り人間ドックを受診し、かつ十年後の昨年検診センターを受診した約600名を対象に、アンケート調査により、十年前と現在の生活スタイルの変化について調査し、合わせて、十年前と現在の検診成績の変化を比較し、生活スタイルの変化が検診成績に与える影響について検討した。

②母と子の食嗜好の関係の検討

福野小学校の生徒約一千人を対象に母の食嗜好と子の食嗜好の関係について検討した。その

結果、食品群毎に母の嗜好が子に影響を与えるパターンが異なる事が明らかになった。

③山村住民の聴力の検討

継続調査をしている利賀村住民の聴力調査、並びに耳鼻咽喉科検診を実施した。

(6) 「農村における老化とその対応」に関する調査研究

現在国では新ゴールドプラン等により施設の設置や人手の確保対策が進められている。しかし、これらは必ずしも高齢者の心情や思いを基本として進められているとは言えない。そこで、富山県を含め全国7カ所で、高齢者の思いや心情に焦点を当てたアンケート調査を実施してきた。(～平成7年度)

(7) 農村検診センターにおける検診結果と、今後の農村における保健活動の課題

農村検診センターにおける約10,000人の受診者の検診結果の分析を通じ、今後の農村における健康管理の課題について検討した。

Ⅲ. 各種研究集会参加・交流並びに開催

(1) 第43回日本農村医学会

- ・開催日時 平成6年10月13, 14日
- ・開催場所 つくば市
- ・シンポジウム 「高齢化社会と老人のケア -理想と現実-」
特別発言 越山健二「老人ケアの理想と現実」
- ・会員発表 富山県より9題発表
 - 農業機械による手足の外傷の治療経験 (長谷田泰男)
 - 富山県一山村におけるスギRAST成績 (豊田 務他)
 - 人間ドックにおける各種検診データと食習慣との関連について (岸 宏栄他)
 - 継続受診者の高脂血症の経過から保健相談をふりかえる (佐武千佳子他)
 - 糖尿病教育入院患者の退院後のコントロール状況について (野崎 啓子他)
 - 在宅療養患者のQOL向上を目指して
-多発性脳梗塞に痴呆をきたした患者の訪問看護を通しての一考察- (森田 久子他)
 - 富山県における農薬中毒実態調査(第3報) (寺中 正昭他)
 - 日本と中国における農薬中毒比較 (大浦 栄次他)
 - 検査前オリエンテーションを再考する
-バーバラ・マックパンの患者教育の視点を取り入れて- (石黒 明代他)

(2) 第12回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会

- ・開催日時 平成7年1月28日(土)
- ・開催場所 厚生連高岡病院 地域医療研修室(1)
- ・会員発表 7題(参加者約70名)
- ・特別発言 越山会長

IV. 印刷物の刊行
会誌第26巻の発刊

Ⅲ. 主な行事（平成6年4月1日～平7年3月31日）

年月日	主 な 行 事	
	事 項	場 所
6. 4. 1	空中花粉定点観測 (2/20～4/30)	井波農協, 立山町農協 厚生連看護専門学校 厚生連滑川病院, 利賀村農協, 黒部農協
4. 1	高齢者問題専門委員会小委員会	厚生連会議室(5名)
4. 22	平成6年度第2回役員会	厚生連会議室
5. 10	高齢者問題専門委員会	厚生連会議室(13名)
5. 27	「農村における老化とその対応」班会議	全国厚生連
6. 4	第25回総会	県民会館
6. 10	山村住民の耳鼻咽喉科検診, および山村住民 の難聴調査(6/9, 23, 7/7)	利賀村(豊田, 大浦他)
6. 10	第85回日本農村医学会理事会	つくば市(越山出席)
8. 10	高齢者問題専門委員会小委員会	厚生連会議室(5名)
8. 23	第16回富山県農村の健康会議	富山県農協会館
9.	平成6年度前期農薬中毒, 農業災害実態調査	
10. 13～14	第43回日本農村医学会	つくば市(発表9題)
11. 9	高齢者問題専門委員会	厚生連会議室(10名)
12.	臭化メチル燻蒸作業従事者調査	
7. 1.	平成6年度後期農薬中毒, 農業災害実態調査	
1. 28	第12回富山県農村医学研究及び健康管理活動 発表集会	厚生連高岡病院 (約70名参加)
2. 15	平成6年度第1回役員会	厚生連会議室

IV. 総 会

第25回通常総会

平成6年6月4日

総会日現在会員数		329名
出席会員数	実際に出席した会員	66名
	代理議決	0名
	書面議決	140名
	計	206名
<p>重要な議事及び議決事項</p> <p>第1号議案 平成5年度事業報告書、財産目録、収支決算書承認について 原案承認</p> <p>第2号議案 平成6年度事業計画案及び収支予算案承認について 原案承認</p> <p>第3号議案 役員の一部改選について 原案承認</p> <p>第4号議案 顧問の一部変更承認について 原案承認</p> <p>※議事終了後、講演会を開催 特別講演 金沢大学名誉教授 酒井栄一氏 「研究と回顧」－数学・医学が求める芸術性－</p>		

財 産 目 録

(平成7年3月31日現在)

(単位：円)

内 訳	金 額	備 考
貯 金	60,320	
計	60,320	

平成6年度収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
会費収入	329,000	306,000	-23,000	
会 費	329,000	306,000	-23,000	306人×1,000円
助成金	1,800,000	1,800,000	0	
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0	富山県より
特別負担金	4,680,000	4,680,000	0	
特別負担金	3,480,000	3,480,000	0	4連×870,000円
調査研究協力費	1,200,000	1,200,000	0	厚生連より繰入
受託料	100,000	100,000	0	
受 託 料	100,000	100,000	0	県より農機災害調査委託費
雑収入	4,805	3,505	-1,300	
雑 収 入	4,805	3,505	-1,300	利息等
前期繰越金	33,288	33,288	0	
収 入 計	6,947,093	6,922,793	-24,300	

支出の部

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
会議費	650,000	903,573	253,573	
総 会 費	200,000	342,423	142,423	
役員会費	450,000	561,150	111,150	
事業費	5,850,000	5,499,814	-350,186	
研究調査費	3,400,000	3,395,602	-4,398	各種調査研究費
専門委員会費	100,000	54,858	-45,142	〃 打合せ等
研究集会費	500,000	440,402	-45,142	日本農村医学会等参加費
会誌発行費	1,300,000	1,395,345	95,345	第26巻発行費
編集委員会費	50,000	5,000	-45,000	
通信費	200,000	63,630	-136,370	
消耗品費	150,000	144,977	-5,023	
備品・什器	150,000	0	-150,000	
旅費交通費	150,000	212,500	62,500	
旅 費 交 通 費	150,000	212,500	62,500	
事務費	240,000	240,000	0	
事 務 費	240,000	240,000	0	20,000円×12ヶ月
雑 費	20,000	6,586	-13,414	
雑 費	20,000	6,586	-13,414	
予備費	37,093	0	-37,093	
予 備 費	37,093	0	-37,093	
支 出 計	6,947,093	6,862,473	-84,620	
次期繰越金		60,320		

平成7年度事業計画

I. 事業方針

富山県内の農山漁村におけるすべての健康問題を調査研究し、明るく健康な村づくりに寄与する。

特に、農薬中毒や農業災害、職業性疾患等農業医学的分野及び、農村環境や農村生活に起因する農村医学的分野について調査研究を行う。さらに、命を育む農業を営む事の精神的、社会的、文化的意義を明らかにし、心豊かな農村づくりに寄与する。

II. 事業計画概要

1. 農村の職業性疾患の調査研究
 - ・農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究
2. 農業災害の調査研究
 - ・農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、特に騒音及び振動の影響に関する調査研究
 - ・農業機械及び農業機械以外による農業災害事故調査研究
3. 農業の生体に及ぼす影響に関する調査研究
 - ・農薬中毒の実態調査
 - ・農薬の生体に対する急性及び慢性的影響に関する調査研究
 - ・農薬の生体残留に関する調査研究
4. 健康管理に関する調査研究
 - ・農業従事者の健康状態の把握と保健指導
 - ・農業従事者の健康管理に関する調査研究
 - ・農業従事者の成人病の実態調査とその対策に関する調査研究
5. 農村における社会医学的研究
 - ・農村における高齢者に関する調査研究
 - ・社会変動による農業従事者の生活・健康に及ぼす影響についての調査研究
 - ・都市近郊農村における社会医学的研究
 - ・農村における食生活の変化と健康影響に関する調査研究
6. 農村における特殊疾患の調査研究
 - ・伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究
7. 農村における環境汚染と健康影響に関する調査研究
8. 乳幼児並びに学童の健康調査研究
9. 農村の健康会議、健康教室等の実施
10. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行
11. 研究集会の参加及び開催
12. その他目的達成に必要な事項

III. 主な事業計画

I. 主な調査研究

- (1) 農業災害に関する調査研究

- ①富山県における農業機械災害事故調査
- ②富山県における農業機械以外の農業災害事故調査
- (2) 農薬中毒に関する調査研究
 - ①富山県における農薬中毒の臨床例の収集とその問題点の解析
 - ②農薬散布者の健康調査
 - ③有機リン剤の体内残留に関する調査研究
- (3) 農村におけるアレルギー疾患に関する調査研究
 - ①農村地区における花粉症に関する調査研究
 - ・富山県における空中花粉の飛散状況調査（井波他4カ所）
 - ②農村住民のアレルギー疾患に関する調査研究
- (4) 農作業及び農作業環境と健康障害に関する調査研究
 - ①農作業における粉塵と健康障害に関する調査研究
 - ②ハウス農家の作業環境調査
- (5) 農山村における騒音による聴力障害等に関する調査研究
 - ①農業機械の騒音分析及び作業中騒音暴露量の測定
 - ②農業機械の振動に関する調査研究
 - ③農山村住民の聴力損失に関する調査研究
- (6) 農村環境の変化と健康影響に関する調査
 - ①農村における緑の調査
 - ②農村における大気汚染に関する調査研究
- (7) 農村における生活習慣と健康に関する調査研究
 - ①食生活と健康に関する調査研究
 - ②農村生活の変化と健康障害に関する調査研究
- (8) 農村におけるプライマリーヘルスケアの確立に関する調査研究
 - ①農村における健康管理運動の確立に関する調査研究
- (9)農村における高齢者問題に関する調査研究
 - ①「農村における老化とその対応」に関する調査研究
- (10) その他、農村における各種保健調査、健康調査の実施
 - ①肥満、アルコール、肝疾患等の調査研究
 - ②農村における成人病に関する調査研究
 - ③その他

II. 各種研究集会参加・交流並びに開催

(1) 学会等への参加

①第44回日本農村医学会（平成7年10月，長岡市）

(2) 第13回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会の開催

平成8年2月3日（土），厚生連高岡病院

(3) 中国，河南省との農業災害，農薬中毒，高齢者の実態調査の共同研究

III. 会誌等の印刷物の発刊

①富山県農村医学研究会誌第27巻の発刊

②その他

IV. その他目的達成に必要な事業

平成7年度収支予算書

収入の部

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
会費収入	306,000	
会 費	306,000	306人×1,000円
助成金	1,800,000	
助 成 金	1,800,000	富山県より
特別負担金	4,680,000	
特 別 負 担 金	3,480,000	4連×870,000円
調査研究協力費	1,200,000	厚生連より繰入
雑収入	3,505	
雑 収 入	3,505	利息等
前期繰越金	60,320	
収 入 計	6,849,825	

支出の部

項 目	金 額	備 考
会議費	750,000	
総 会 費	300,000	
役員会費	450,000	
事業費	5,600,000	
研究調査費	3,400,000	各種調査研究費
専門委員会費	80,000	“ 打合せ等
研究会集費	350,000	日本農村医学会等参加費
会誌発行費	1,300,000	第27巻発行費
編集委員会費	20,000	
通信費	200,000	
消耗品費	150,000	
備品・什器	100,000	
旅費交通費	200,000	
旅 費 交 通 費	200,000	
事務費	240,000	
事 務 費	240,000	20,000円×12ヶ月
雑費	20,000	
雑 費	20,000	
予備費	39,825	
予 備 費	39,825	
支 出 計	6,849,825	

役員・顧問名簿

平成7年6月3日現在

理 事	役 職
越 山 健 二	全国国保診療施設協議会顧問
松 岡 忠 一	県医務課 課長
伊 藤 英 明	県普及技術課 課長
東 野 宗 朗	県健康課 課長
小 野 啓 安	保健所長会長・富山保健所 所長
飯 田 恭 子	保健所長会副会長・黒部保健所 所長
石 田 礼 二	富山県赤十字血液センター所長
館 野 政 也	県立中央病院 院長
熊 谷 武 夫	高岡市保健センター所長
黒 崎 正 夫	富山県医師会学術担当理事
中 藤 康 俊	富山大学教授
渡 辺 正 男	前富山医科薬科大学教授
長 谷 田 祐 作	元国立富山病院 院長
西 能 正 一 郎	西能病院 理事長
北 川 鉄 人	北川クリニック 院長
寺 中 正 昭	寺中クリニック 院長
加 藤 正 義	厚生連高岡病院 院長
小 川 忠 邦	厚生連滑川病院 院長
豊 田 務	厚生連高岡病院 副院長
大 沢 勇	富山県農協中央会 組織農政部長
久 保 博 紀	富山県経済連生活部 部長
安 宅 清 一	富山県厚生連 参事
中 井 か お り	富山県農協婦人組織協議会 会長
前 田 豊 嗣	富山県農協青年組織協議会 委員長
高 畑 す み 子	富山県生活指導員協議会 会長
監 事	役 職
美 川 郁 夫	厚生連高岡病院 副院長
上 田 七 郎	高岡市農林部長
顧 問	役 職
中 沖 豊	富山県知事
正 橋 正 一	富山県市長会 会長
	富山県町村会 会長 ※
出 口 国 夫	富山県医師会 会長
三 薺 文 雄	富山県厚生部 部長
澤 合 敏 博	富山県農林水産部 部長
松 井 信 勝	富山県農協中央会 会長
戸 谷 徳 一	富山県信連 会長
中 西 正 孝	富山県経済連 会長
吉 田 興 治	富山県厚生連 会長
江 西 甚 昇	富山県共済連 会長

※ 顧問の富山県町村会会長は、6月9日の町村会総会にて決定されてより依頼する。

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原 稿 の 送 り 先 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪 2 番21号富山県厚生連内）

投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文の原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostigmin 等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字 Moccus rlesus, 山椒藻 Salvinabatah 等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートル m, センチメートル cm, グラム g, キログラム kg 等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロロン（:）ゴシックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。
（図表は、特殊なものを除いては、出来上がり左右6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）
図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。
5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（末記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷り上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷り上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

文 献

1. 雑誌の場合 著者名、標題名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭和52.5のごとく。）
2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の箇所を最後に）

印 刷 印刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

1996年は、前年のウルグアイラウンドの決着に基づき、我が国史上初めて制度として米の輸入が始まり、また、米の自由販売を基本とする新食糧法の制定など、農業農村をめぐる大きな変動がありました。

米農家の生産意欲は益々減退し、若者の農村離れが急速に進み、農村の高齢化は一気に加速しようとしています。

しかし、越山会長が「土から離れたところに、命の営みなし」、「農こそが、21世紀の精神荒廃を救うもの」との提言は、今日の精神荒廃の様々な問題を目の当たりにするにつれ、ますます現実味を帯びてきています。

本研究会では、命のふる里、農村の再生こそ農村医学の重要な命題として取り組んできています。本誌で掲載された、農村の現実に即した明るく豊かな農村建設への提言や問題解決の道筋への論文などは、21世紀を切り開く先駆的役割を果たしているものと思います。

(E. O)

編 集 委 員 越山健二，長谷田祐作，渡辺正男，北川鉄人

富山県農村医学研究会誌 第27巻平成8年3月25日印刷・3月31日発行
富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電話 富山(0764)45-2307
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 寺部 聡
印刷所 中央印刷株式会社 富山市下奥井町 電話(0764)32-6572
